

停電時に電気を使用するためには

かんたん
操作
ガイド

TOKYO GAS



停電時発電継続機能付き
エネファームをお使いのお客さまへ

アイシン製 2022年モデル用



●詳しくは取扱説明書およびアイシン解説動画をご確認ください。▶

対象燃料電池ユニット品番

FCCS07C2NAJ-
FCCS07C2NAJB

対象リモコン品番

FCHRNR4W

エネファームが発電中に停電が発生した場合、停電中も
停電時専用コンセントから電気を使用することができます。



*停電時に発電をするためには、都市ガスが供給状態であることが必要です。また、水道の供給が確保されていない場合、使用できる電力量を抑制したり、発電出力が不安定になる場合があります。

*〈DC出力仕様(FCCS07C2NAJB)〉の場合で、ハイブリッド蓄電システムとDC連携している場合は、自立分電盤に接続された電化製品やコンセントをご利用頂けます。詳細はハイブリット蓄電池システムの取扱説明書をご覧ください。

事前に確認

停電時、電気は**停電時専用コンセント**から使用可能です。**停電時専用コンセント**の位置を確認ください。

●停電時専用コンセントは、通常時は使用できません。

停電時に電気を使用する | 停電時に電気が使えるまでの手順



1 停電してから約90秒後に
リモコン画面が点灯します。

*停電直後、リモコンの表示が一度
消えますが、故障ではありません。

2 トップ画面で「自立」
の交互表示を確認
します。

3 使用したい電化製品を「停電時専用コンセント」に接続し、使用する。使用電力が発電電力を超えないように、電化製品の使用量を調整する。

●最大0.70kWの電気を使用できます。(エネファームで消費する電力を含みます。)

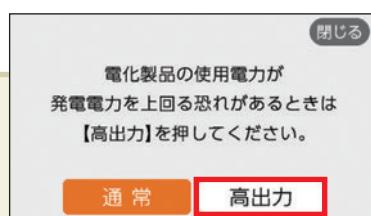
●リモコンに「発電継続のために、お湯を使ってください。」のメッセージが表示された場合は、停電発電を継続するために、給湯栓(給湯蛇口)を開けてお湯を使用してください。

●停電時に給湯・床暖房をご使用になる場合は、給湯器の電源プラグを停電時専用コンセントへ差し替えが必要です。

停電時に発電電力が下がったときは | 発電電力を上げる手順



1 「自立発電能力」に
タッチする。



2 「高出力」にタッチする。



3 「自立・高」に変わります。
(発電出力は徐々に上がります。)

●リモコンに「自立発電能力」が表示されていない場合は、発電電力を上げることができません。

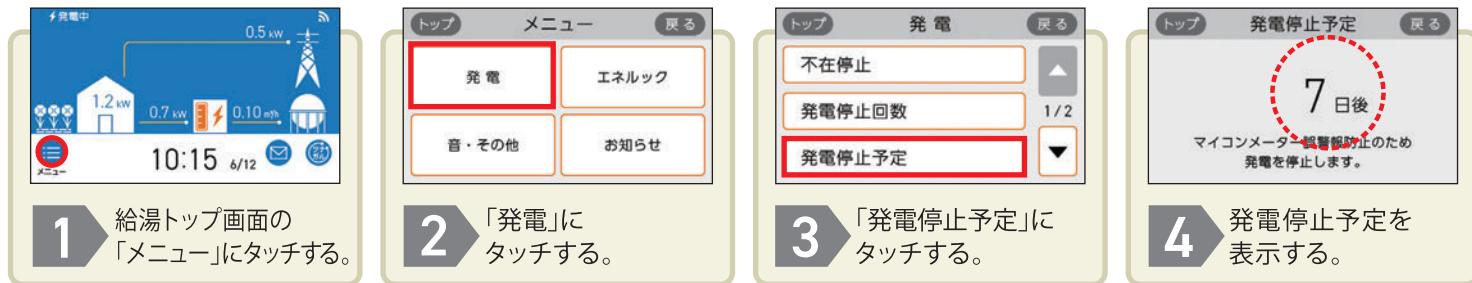
●停電時専用コンセントの使用電力が少ない、外気温が高い、お湯使用量が少ない場合には高出力モードは自動的に解除されます。

台風等の影響により停電発生が予想されるときにご確認ください

エネファームは、26日間連続運転する毎に24時間停止します。発電停止中に停電が発生すると、停電時にエネファームの電気を使用できません。事前に停電発生が予想されている日のエネファームの発電状況を確認することができます。確認した結果、発電していないことが予想されても、**丸2日以上前**であれば発電停止予定日をずらすことができます。

停電発生が予想されている日にエネファームが発電しているかを確認する手順

リモコンで発電停止が何日後に予定されているかを確認します。



停電発生が予想されている日が、上記で確認した日およびその翌日と重なっていないか確認します。

(例) 発電停止予定が「7日後」の場合、停電発生が予想されている日が7日後または8日後と重なっていないかを確認します。

重なって
いない場合

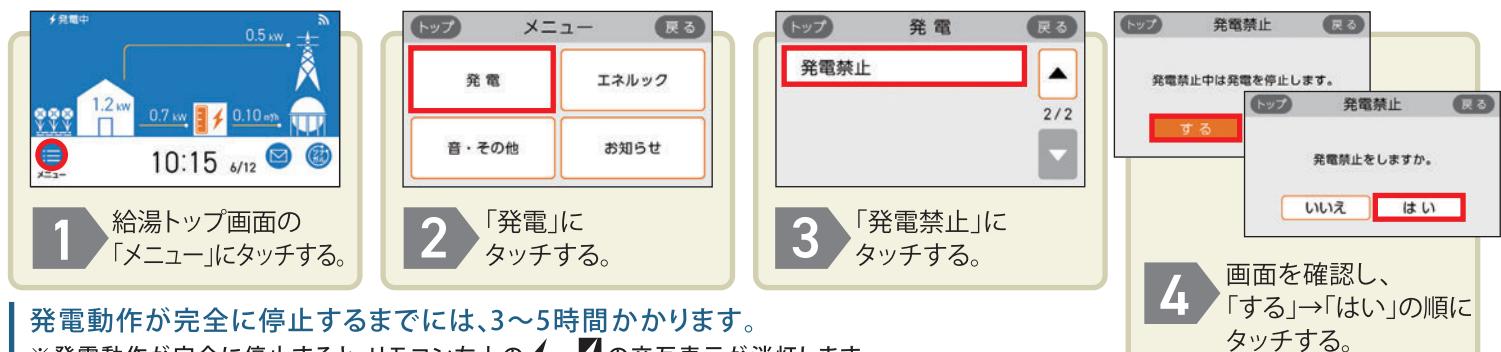
発電中に停電が発生することが予想されます。
このため、特段の事前準備は不要です。

重なって
いる場合

発電停止中に停電が発生することが予想されます。
下記の操作を行うことで、発電停止予定日をずらす
ことが可能ですが。

発電停止予定日をずらす手順(発電停止操作後、発電再開までに約35時間必要です)

発電を停止させる



発電動作が完全に停止するまでには、3~5時間かかります。

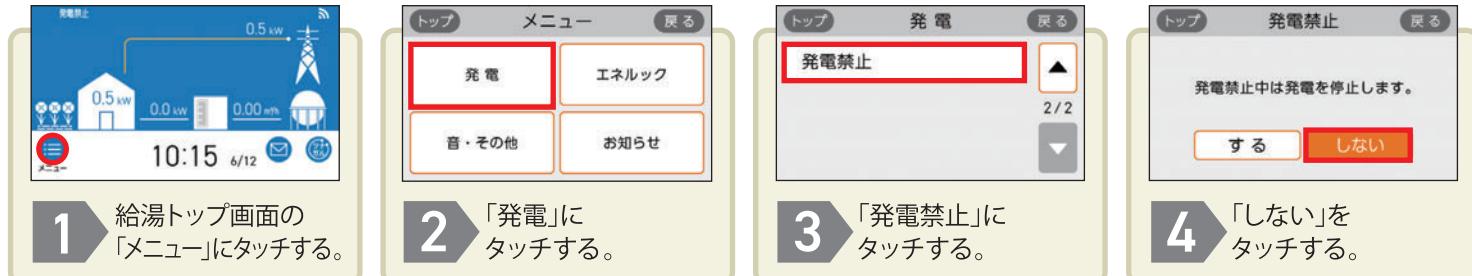
※発電動作が完全に停止すると、リモコン左上の の表示が消灯します。

発電停止予定日がずれたことを確認する

発電動作の完全停止後、更に24時間以上経過*した後、発電停止予定が「26日後」になっていることを確認してください。
「26日後」にならない場合は、その後しばらく待ってから再度ご確認ください。

*この間に、ガス機器(給湯・床暖房など)を連続で最低70分以上停止してください。

発電を再開させる



操作後、発電を開始するまでに4~5時間かかります。